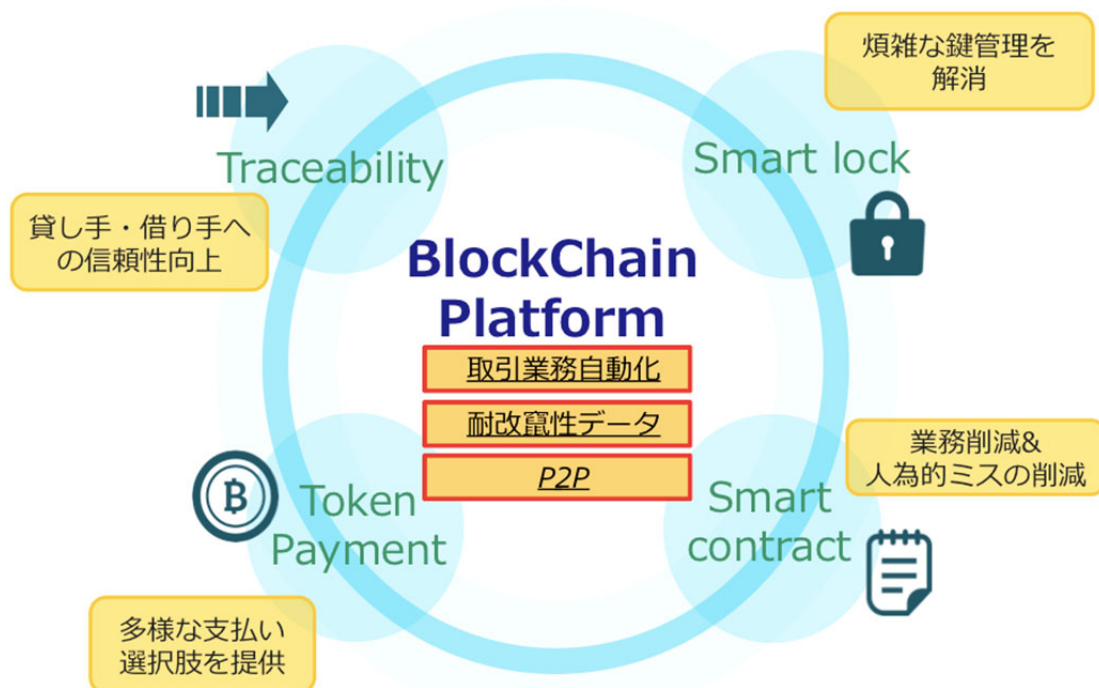


スマートロックとブロックチェーン技術を組み合わせた 電子鍵権利発行・管理システムを開発 ～不動産賃貸業務における鍵管理の効率化を実現～

この度、株式会社カイカ（本社：東京都目黒区、代表取締役：鈴木 伸、以下「当社」）は不動産賃貸業務における効率的な鍵管理を可能とするために、電子鍵（スマートロック）の権利をブロックチェーン上で発行・管理するシステムを開発致しました。

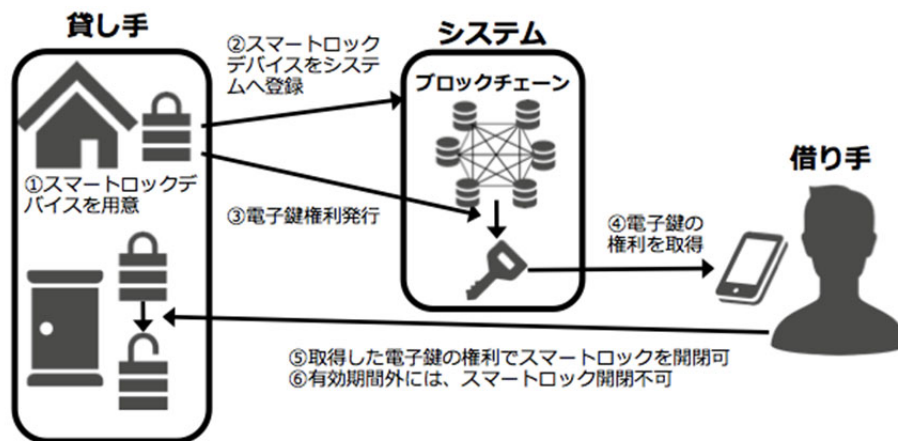
電子鍵（スマートロック）権利発行・管理システムは、ブロックチェーン技術を適用することにより、P2Pで貸し手と借り手をつなげることが可能であり、賃貸物件の仲介において、大幅な業務の効率化が期待されることから需要が高く、また、この仕組みを基礎とした様々な応用が見込めます。

当社は、不動産業務、なかでも賃貸業務とブロックチェーン技術の親和性が高いと考えており、これまで様々な企業とブロックチェーン技術におけるPoC（Proof of Concept：概念実証）を進めてまいりました。PoCを重ねた結果、賃貸業務にブロックチェーンを活用することで業務の効率化が実現できる範囲は以下と考えております。



今回当社が開発した電子鍵権利発行・管理システムの具体的な内容は以下のとおりです。

- ①貸し手がスマートロックデバイスを用意
- ②用意したスマートロックデバイスをシステムに登録
- ③登録したスマートロックデバイスに基づく、有効期間付きの電子鍵の権利を発行
- ④借り手は既に発行されている電子鍵の権利一覧から、該当の権利を選択し、取得
- ⑤借り手が取得済みの電子鍵の権利は、有効期間内に対象となるスマートロックの操作が可能
- ⑥電子鍵の権利が有効である期間がすぎると、電子鍵の権利は消滅



スマートロックのデバイスは、賃貸業務にもっともフィットし、錠の権利をブロックチェーン上で発行・管理する上で好相性であった株式会社リクルートテクノロジーズのiNORTH KEY（イノースキー）を選択致しました。

ブロックチェーン技術は日本でも実用段階に入っております。ブロックチェーン技術を積極的に取組む当社としては、効果的なブロックチェーン技術を適用した仕組みの投入に取り組んでおります。今回は、ブロックチェーン技術の適用に高い効果が見込める不動産の事業領域の内、賃貸物件の鍵管理にフォーカスした仕組みを開発致しました。今後は、ブロックチェーン技術を適用した不動産業務全般のプラットフォーム開発および他の事業領域におけるブロックチェーン技術を応用したプラットフォームの開発を目指します。

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
 株式会社カイカ
 TEL 03-5657-3000